



都レンジャーNEWS

小笠原
母島版

Vol. 7
2010. 6発行

聳島列島、母島列島

アホウドリ類足環標識調査

5月10～12日に聳島列島、15日に母島列島のアホウドリ類足環標識調査に行ってきました。

東京都が30年以上前から実施している、クロアシアホウドリやコアホウドリの調査です。この調査では、巣立ち直前のヒナに足環標識を付けたり、ヒナが吐き戻した胃内容物の確認、また足環標識を付けた成鳥がいかなかなどを確認しています。

今年足環を着けたヒナの数は、昨年より150羽増という結果になりました。



足環標識装着の様子(妹島鳥島)



吐き戻し内容物(嫁島)



アホウドリ類繁殖地(聳島)



クロアシアホウドリのヒナ(姉島南鳥島)

母島列島では、姉島南鳥島と妹島鳥島で数年前から調査を実施しています。他にも、今年には平島二子島の上空を飛行しているのを確認し、昨年には鯉鳥島に飛来しているのを確認しています。母島の属島の属島で繁殖しているため、数は少ないですが世界レベルで見ればとても貴重な繁殖地となります。

足環標識装着数

	聳島列島	母島列島
2010年	947羽	9羽
2009年	799羽	7羽

★都レンジャーNEWSはHPでもご覧いただけます！⇒URL <http://www.soumu.metro.tokyo.jp/07ogasawara/55ranger/home.htm>★

マメ知識

コアホウドリ(小信天翁)

学名: *Diomedea immutabilis*

大きさ 体長 80 cm

翼開長: 200 cm



コアホウドリのヒナ(左)と成鳥(右)

クロアシアホウドリ(黒足信天翁)
学名: *Diomedea nigripes*

大きさ 体長 70 cm

翼開長: 210 cm



クロアシアホウドリのヒナ(左)と成鳥(右)